令和５年度東京都高齢者権利擁護推進事業
「施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)」募集要項

お申込み前に、本紙に記載の事項をすべてお目通しいただき、御了解の上でお願いいたします。
お申込みから研修当日までの流れは、６ページの「１５」をご覧ください。

１　研修目的

本研修は、介護施設等において、高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援し、権利擁護に必要な援助等を行うために介護施設等の看護職に求められる実践的な知識・技術等の習得を目的とし実施します（講義及びグループワーク等)。また、地域包括ケアにおける高齢者の権利擁護のために必要な援助等を実践できる視点も加味して行います。

２　研修実施機関

公益財団法人東京都福祉保健財団　人材養成部　福祉人材養成室（東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター)

※東京都福祉局高齢者施策推進部より委託を受けて実施します。

３　対象者

介護老人福祉施設（地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護含む）または介護老人保健施設の現場において、実際に保健医療サービス及び福祉サービスを提供している**看護職員**。

※**看護師及び准看護師以外の方は、受講できません**ので御注意ください。

※**平成２０年度から令和４年度において本研修を受講され、「修了証書」が交付されている方は、お申込みできません。**なお、現在の所属施設とは異なる施設の所属時に受講し、修了証書が交付されている方も対象になりませんのでご注意ください。。

※インターネットを活用したオンライン研修となるため、**オンライン講義の視聴環境は、推薦する事業所が責任をもって確保の上お申し込みください。なお「オンライン研修受講で推奨するシステム要件」については、7～８ページを御参照ください。**

４　研修日程及び募集定員等

３日間の日程で２コース実施します。

各コース、１日目及び３日目の研修時間は１０時００分から１６時３０分（予定）です。

研修日程			定員	開催方法
Aコース	１日目	令和６年１月１７日（水曜日）	60 名	Zoom によるオンライン（ライブ配信）
	２日目	１日目受講後から３日目受講まで		講義動画配信（YouTube 限定公開）
	３日目	令和６年２月２日（金曜日）		Zoom によるオンライン（ライブ配信）
Bコース	１日目	令和６年１月３１日（水曜日）	60 名	Zoom によるオンライン（ライブ配信）
	２日目	１日目受講後から３日目受講まで		講義動画配信（YouTube 限定公開）
	３日目	令和６年２月１６日（金曜日）		Zoom によるオンライン（ライブ配信）

５　受講料

無料

６　申込人数

各施設・事業所１～２名程度　※複数お申込みの場合はお１人ずつ入力をお願いいたします。

７　「事前課題」及び「リアクションペーパー」の提出について

①「事前課題」の提出について

下記「８ カリキュラム」を実施する上で、研修の実施前に課題を提出していただきます。「自施設での権利擁護、高齢者虐待の防止への取組み」に関する内容を予定しております。課題の詳細は、受講決定の際に御案内いたします。

②「リアクションペーパー」の提出について

２日目のカリキュラムは、講義動画配信（YouTube 限定公開）により実施します。聴講後、科目で学んだことや気づき等について御記入いただき、３日目受講前の提出期日までに御提出いただきます。２日目の受講確認は、この「リアクションペーパー」の提出により行います。提出方法等の詳細は、受講決定の際に御案内いたします。

８　カリキュラム（予定）　各項目は、若干の変更となる場合があります。

【1 日目】Zoom によるオンライン（ライブ配信）

Ａコース：１月１７日（水曜日）　Ｂコース：１月３１日（水曜日）　１０時～１６時４５分

時間	形態	科　目	内　　容　等	講　師（敬称略）
95 分	講義	【科目１】 高齢者の権利擁護 （高齢者虐待、成年後見制度活用　等）	・高齢者の権利擁護の概論 ・高齢者を取り巻く社会環境と高齢者虐待の実態 ・高齢者虐待の具体例 ・身体拘束の廃止に向けた取組み ・意思決定支援　等	（公財）東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者 権利擁護支援センター 専門相談員
70 分	演習	【科目２】 施設内での高齢者虐待防止、権利擁護の取組み	・「事前課題」の内容をグループ内で共有 ・受講者同士の質問をとおした気づき ・「困っていること」等に対して、権利擁護の視点をもってどのように向きあうか、取組むかを考えることをとおして、施設看護職に求められている役割を再認識する	（公財）東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者 権利擁護支援センター 専門相談員
120 分	講義	【科目３】 「生活の場」で提供される看護の特徴と急変時における権利擁護のあり方	・「生活の場」としての施設での看護職の位置づけ ・医師のいない場での看護職の役割 ・急変時の対応の基本 ・看取り看護の基本 ・医療行為の基本 ・権利擁護としての看護職の役割　等	〈看護指導者養成研修修了者〉 松尾香苗（介護老人保健施設グリーンポート恵比寿　看護師長）
10 分	総括	まとめと振り返り	1 日目のふりかえりと 2 日目に向けた案内	進行（事務局）

【２日目】講義動画配信（YouTube 限定公開による聴講）

各コース１日目終了後から３日目受講までの期間に各自聴講し、「リアクションペーパー」の提出を求める。
（期日までに提出。詳細は募集要項「７　「事前課題」及び「リアクションペーパー」について」を参照）

時間	形態	科　目	内　　容　等	講　師（敬称略）
75 分	講義	【科目４】 介護保険制度と看護職員の役割	・介護保険制度と地域包括ケアシステムの基本的な理解 ・施設における看護職の位置づけ　等	厚生労働省老健局高齢者支援課 主査　今村仁美
各 90 分	講義	【科目５】 高齢者の心身の理解、認知症高齢者の理解と看護	・高齢者の心身の特徴とフィジカルアセスメント（気づきと観察） ・認知症の医学的・心理的理解 ・認知症の人の生活のアセスメントと認知症ケア ・認知症の人の家族の理解と支援　等	順天堂東京江東高齢者医療センター 看護部長　佐藤　典子
	講義	【科目６】 リスクマネジメントと権利擁護	・権利擁護の観点からみた介護事故防止の考え方 ・事故につながる不適切なケアと防止 ・事故防止のための体制整備 ・介護事故発生時の対応　等	株式会社 フォーサイツコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦
	講義	【科目７】 生活の場での看取り①～グリーフケア・セルフケア～	・看取り期における家族支援 ・グリーフケア、セルフケアに関する基本的知識の習得 ・デスカンファレンス　等	がん研有明病院　腫瘍精神科 公認心理師/臨床心理士 厚坊　浩史

【３日目】Zoom によるオンライン（ライブ配信）

Ａコース：２月２日（金曜日）　Ｂコース：２月１６日（金曜日）　１０時～１６時３０分

時間割	形態	科　目	内　　容　等	講　師（敬称略）
120 分	講義及び情報交換	【科目８】 権利擁護の視点から考える感染症対策（体制整備、発生時の対応の基本）	・感染症対策として必要な体制整備、発生時の対応等の基本 ・「生活の場」での感染症対策に関する事例をとおした、感染症対策における権利擁護実践への理解 等	〈看護指導者養成研修修了者〉 杉浦淑美（介護老人保健施設ジェロントピア菊華　看護師長）
60 分	講義	【科目９】 生活の場での看取り②～本人中心のチームケア推進に向けて～	・本人意思の確認の在り方（ACP,意思決定支援等） ・看取り期における家族支援、多職種協働による看取りケア ・生体の死への変化 ・環境を整えていく視点　等	〈看護指導者養成研修修了者〉 大久保　実（高齢者総合福祉施設吉祥寺ホーム統括施設長）
100 分	演習	【科目１０】 権利擁護に必要なケア、体制づくり	・３日間の総合演習 ・自施設における高齢者虐待防止に向け、看護職として主体的に関わるために必要なことは何かを探る ・「事前課題」で課題把握された内容を、実務につなげるための整理と準備　等	（公財）東京都福祉保健財団 東京都高齢者・障害者 権利擁護支援センター 専門相談員

10 分	総括	総括・講評 事務連絡	3 日間のまとめ、演習支援者からのフィードバック、修了証発行等事務連絡　等	進行（事務局）

９　申込締切

令和５年１２月１日（金曜日）

１０　修了証書について

受講修了者には、「修了証書」（東京都知事名）を交付します。

但し、「事前課題」及び「リアクションペーパー」に提出かつ Zoom によるオンライン研修の出席時間 4/5 以上が交付要件となります。

１１　個人情報の取扱いについて

受講者推薦及び申込書に記載された個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、当該研修業務管理以外の目的で利用することはありません。

１２　受講者の決定について（申込み結果について）

１２月下旬(予定)に「申込みの結果」についてメールにて通知いたします。受講決定者につきましては、研修予約システムのマイページから「受講決定通知兼受講票」及び「受講の手引き」等をダウンロードしていただきます。

なお、申込者数が定員を上回った場合は、受講できない可能性があります。予め御了承ください。

１３　その他

（１）その他、詳細につきましては、受講決定時に御案内する書類を御確認ください。

（２）受講者の方の受講環境やインターネット環境、機器（パソコン等）の不具合等による研修受講への影響につきましては、当財団では責任を負いかねますので、予め御了承ください。

１４　受講申込み方法

研修予約システムでのお申込みとなります。以下の手順でお申込みください。

※実際のホームページ画面イメージは、次ページ参照

①東京都福祉保健財団ホームページ

ホーム＞「研修を受講される方へ」→「研修・セミナー」→「高齢者権利擁護推進事業」→「４　施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）」

URL（https://www.fukushizaidan.jp/105kenriyougo/sisetsu_kango/）

②「申込専用ページ」 ➔「保護ページ」➔パスワードを入力➔「研修予約システム」

※封書でお送りしている「開催通知」で御案内の「申込専用ページアクセス用パスワード」を入力

③「研修予約システム」にて申込 ➔「申込受付完了メール」（自動送信）を受信

※お申込み直後に御登録されたメールアドレスへ「申込受付完了メール」が届かない場合、お申込が正しく完了されていない可能性があります。御注意ください。

【 重　要 】**「申込受付完了メール」（自動送信）の受信確認及び保存をお願いします**
受付完了メールに記載の URL から、お申込内容の確認や変更が可能です（変更は申込締切日まで）。 受講決定や事前課題・リアクションペーパーの提出に必要なメールのため、必ず保存してください。

≪留意事項≫

※申込完了後「申込受付完了メール」が自動送信されますが、この時点では、受講が確定したわけではありませんので御注意ください。なお「申込受付完了メール」が届かない場合、登録されたメールアドレスに誤りがある場合又は操作が終了してない可能性が考えられますので、御注意ください。届かない場合はお問合せください。

※誤ったアドレスを登録されると申込後のメールが届かず、諸連絡の受取ができなくなりますので十分御注意ください（お申込み後の各種御連絡（申込結果通知や受講決定後の動画視聴案内等）はすべてメール送信により行います）。また、メールの設定で受信制限をされている方は「@fukushizaidan.jp」の受信許可設定をしてください。

※受信メールサーバの容量がいっぱいの場合、受信できない場合があります。お使いになるメールの受信サーバの容量に余裕があるか事前に御確認をお願いします。

※申込期間内であれば、お申込み後も予約システムの「マイページURL」（申込受付後自動送信される「申込受付完了メール」内で案内あり）で各自申込内容の変更が可能です。申込締切以降は予約システム上での変更ができなくなりますので、申込締切日以降受講決定前の変更は、研修事務局まで御連絡をお願いします。

申込締切：１２月１日（金曜日）

「研修予約システム」入力時の留意事項等

① 同一内容で２コース（A コース・B コース）で実施いたします。いずれかのコースの「詳細」ボタンを選択して、受講申込みにお進みください。

② 各コース定員を超えると人数を調整する場合があります。申込事項に「他コースへの振替の可否」について確認する事項があります。人数調整必要時に予定される他コースへの振替者を検討する際「他コースへの振替可能」と回答された方は振替に御協力をいただく場合があります。
※「振替不可」の場合も必ず希望通りの日程で決定するという保証はありません。予め御了承ください。

③ 「生年月日」につきましては、「修了証書」発行の際に必要となります。毎年、生年月日の記載間違いが発生しておりますので、担当者が申込む場合は、必ず**申込希望者（受講者）に確認の上、入力**をお願いいたします。

④ １回のお申込みで複数分のお申込はできません。同一施設から複数のお申込みを希望する場合は、人数分の予約システムへのお申込をお願いします。なお、定員を超過した場合、人数調整を行う可能性があります。そのため、それぞれのお申込みの「団体からの連絡事項欄」に受講優先順位番号の御記入をお願いします。

⑤「整理番号」は、封書でお送りしている「開催通知」左上の宛先部分に記載しております。

１５　お申込みから研修当日までの流れ

＊申込受付から申込結果通知、ZOOMのURLのお知らせ等一連の手続きは、「申込受付システム」に御登録されたメールアドレスへ送信されます。封書・FAXによる申込み及び結果等連絡は行いませんので御留意ください。
お申込みから研修当日までの大まかな流れを以下お示しします。連絡時期等を参考にしていただき、メールの御確認をお願いいたします。

～12 月 1 日まで

①お申込み
（研修予約システム）
➡申込後自動返信メール
（マイページ URL の御案内）

12 月下旬頃予定

② 申込結果に関する
通知メール
（受講決定または受講不決定の御連絡）

受講決定後から

③ 受講決定者は
「受講決定通知兼受講票」「受講の手引き」をダウンロード
（研修予約システムのマイページ URL）

A コース:令和 6 年 1 月 14 日（日曜日）まで
B コース:令和 6 年 1 月 28 日（日曜日）まで

④ 事前課題の提出
（研修予約システムのマイページ）

⑤ 研修当日
【1 日目】Zoom によるオンライン（ライブ配信）
【2 日目】講義動画視聴（YouTube 限定公開）*
【3 日目】Zoom によるオンライン（ライブ配信）

*2 日目受講確認「リアクションペーパー」の提出は、研修予約システムのマイページからの提出を予定

オンライン研修受講で推奨するシステム要件

オンライン研修は、「Zoom」を使用して実施します。具体的な受講手順については、講義 開催前にオンライン視聴ガイドをお送りしますので、そちらをご覧ください。

オンライン講義の視聴環境は、事業者が責任をもって確保の上、お申込みください。当財 団の責による事由以外で視聴できない場合は、いかなる理由でも修了は認められませんの で、ご了承ください。

«オンライン講義受講で推奨するシステム要件»

1 システム要件

【必須環境】

- インターネット接続：有線または無線ブロードバンド(3G または 4G/LTE)
- スピーカーとマイク－内蔵、USB プラグイン、またはワイヤレス Bluetooth
- ウェブカメラまたは HD ウェブカメラ－内蔵または USB プラグイン

・ 講義は双方向の通信(質疑応答等)の予定はありませんが、演習はグループワークや複数名に発表していただく予定です。演習を受講の際には、カメラ機能・マイク機能をご用意ください。

2 サポートされるオペレーティングシステム(OS)等

MacOS 10.7 以降を搭載の Mac OS X
Windows 8(8.1)またはそれ以降
Ubuntu 12.04 またはそれ以降
Mint 17.1 またはそれ以降
Red Hat Enterprise Linux 6.4 またはそれ以降　　他

・ 受講の際には、受講者ごとにパソコンをご用意ください。タブレット・スマートフ ォンは処理能力が劣り研修の進行に支障が出ますので、お避け下さい。パソコン以外 のデバイス(端末)で受講される場合は不具合のお問合せは対応できません。

3 サポートされるブラウザ

- Windows： Firefox、 Chrome、
- Mac：Safari5+、 Firefox、 Chrome
- Linux：Firefox、Chrome

【補足】

・ 研修中は、Google chrome を使用した操作方法で説明いたします。操作に不安が ある方は、事前に Google chrome をダウンロード(無料)してご準備ください。

・ Windows Edge を経由した視聴の場合、画像・音声の一部が制限される場合がありますので推奨しません。

4 プロセッサおよび RAM の要件

最低		推奨
プロセッサ	シングルコア 1Ghz 以上	デュアルコア 2Ghz 以上(i3/i5/i7 または AMD 相当)
ＲＡＭ	該当なし	8Gb 以上

注意：Linux は、OpenGL 2.0 以上をサポートできるプロセッサまたはグラフィックスカード必要とします。

【参考】CPU と RAM の確認方法
Windows の場合 ：スタートボタン(Windows マーク) ＞ 設定 ＞ システム
＞ バージョン情報で確認できます。
Mac の場合 ：アップルマーク ＞ この Mac について ＞ 概要 で確認できます。

5 帯域幅・通信量の目安

オンライン研修で使用する帯域幅は、視聴者のネットワークが 3G、Wi-Fi、または有線環境に応じて自動的に調整されますが、通信環境により音声・画像の質が影響します。
できる限り有線 LAN を準備してください。

受講に推奨される帯域幅：

- 講義： 50-150kbps (下り)
- 演習： 20Mbps/20Mbps(上り/下り)

【参考】通信速度の確認方法

研修を開催する時間帯に合わせて、通信環境の計測サイトで実計測してみてください。

(参考サイト)「インターネット回線の速度テスト Fast.com」 https://fast.com/ja/

6 その他

研修当日（1 日目及び 3 日目）の Zoom ミーティング ID 等につきましては、受講決定時に別途御案内いたします。

≪お問い合わせ先≫
公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部 福祉人材養成室
東京都高齢者・障害者権利擁護支援センター（研修担当）
電話番号：０３－６３０２－０３９５ ＦＡＸ番号：０３－３３４４－８５９３
研修申込専用メールアドレス：ks-ns-moushikomi@fukushizaidan.jp